

製品名: Caspr (4V9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07990**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,IF-P 1:200-1:2000
分子量	156kDa

抗原情報

遺伝子名	CNTNAP1
別名	Caspr; Caspr1; CNTNAP; Cntnap1; Contactin associated protein 1; MHDNIV; NCP1; Neurexin-4; Nrnx4; p190; Paranodin;
遺伝子 ID	8506.0
SwissProt ID	P78357
免疫原	ヒト Caspr の合成ペプチド

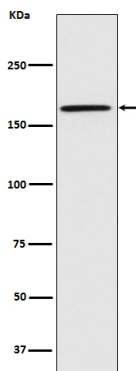
背景

コンタクチン関連タンパク質 2 (Caspr2) は、I型膜貫通タンパク質であり、ニューレキシンスーパーファミリーに属し、ニューレキシン IV-Caspr-パラノジン (NCP) 複合体を介して神経系細胞間相互作用を媒介します。CNTNAP2 と共に、髄鞘形成軸索の放射状および縦方向の組織化に必須です。髄鞘形成神経線維における神経インパルスの跳躍伝導に重要な機能的個別領域の形成に関与します。軸索-グリア接合部の傍節領域を画定します。コンタクチンと関連して、軸索と髄鞘形成グリア細胞間のシグナル伝達に関与します。

研究分野

神経科学; 細胞型マーカー; グリアマーカー; オリゴデンドロサイトマーカー

画像データ



U87-MG 細胞溶解物における Caspr 発現のウェスタン ブロット解析。